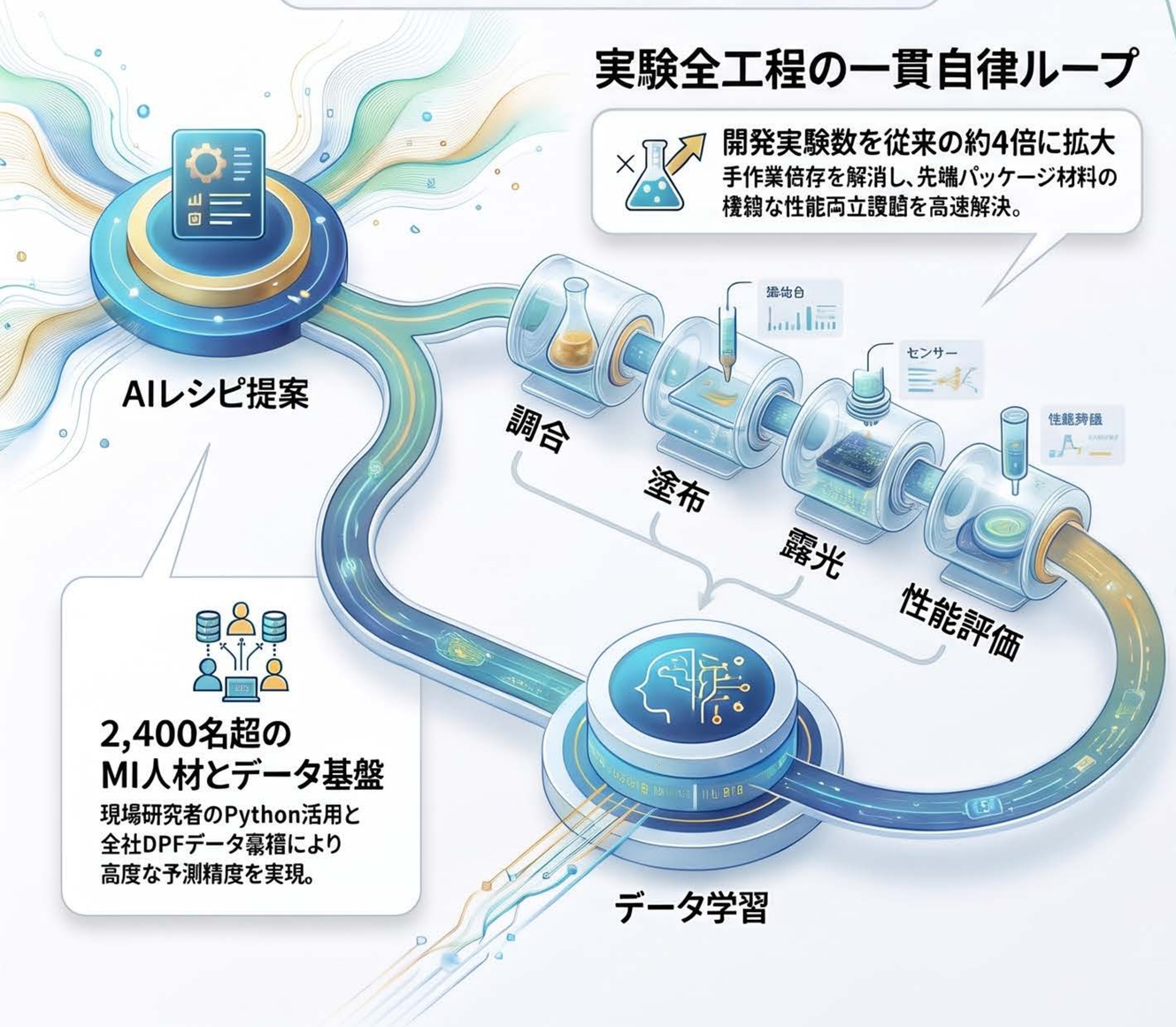
# 旭化成「スマートラボ」が開くAI自律型の半導体材料開発革命

## スマートラボラトリーの技術革新と自律循環

### 実験全工程の一貫自律ループ

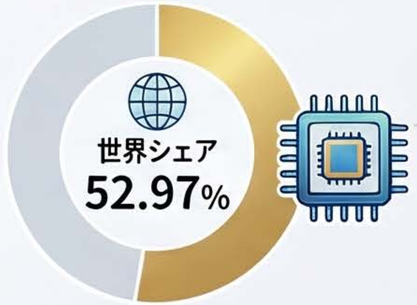
**開発実験数を従来の約4倍に拡大**
手作業倍存を解消し、先端パッケージ材料の
樫鏑な性能両立謬瞻を高速解決。




**2,400名超の
MI人材とデータ基盤**
現場研究者のPython活用と
全社DPFデータ冪稽により
高度な予測精度を実現。

## 市場支配力と開発・量産の一体化による経営インパクト

### 感光性ポリイミドで世界シェア52.97%




先端半導体パッケージ向け材料市場
において圧倒的な世界首位を獲得。



**富士拠点への開発・量産集中投資**
160億円の追加諶碕投資とスマートラボ新設を
富士市に集約し2030年に能力2倍へ。



**過去最高益2,900億円へ
中計を前倒し**
バイメル売上約4割増の追い風により、2027年度の
連結営業利益目標を1年前倒し達成の見通し。

### 国内主要メーカー R&D DXアプローチと独自性

| 企業名 | R&D DXの主要アプローチ | 主な成果・強み |
|---|---|---|
| 旭化成 | 全工程一貫スマートラボ（自律問ループ型） | 開発実髄数4倍、社内MI人材2,420名超 |
| 東京応化工業（TOK） | 外部プラットフォーム（miHub）＋伴走指導 | 暗黙知の可視化、ノーコードでのMI実践 |
| JSR | IBMとの共同研究（材料特化型基盤モデル） | 化学特化AI・生成AIによる探求創出 |

Gemini Notebook